



第60号

新林社会福祉協議会
編集 広報委員



新林学区自治連合会
会長 片岡 純治

福祉のまちづくり

片山会長を始め新林社会福祉協議会の委員の皆さまにおかれましては、新林学区自治連合会の活動にいつもご支援、ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

地域で暮らしていく中で、私たちは多くの方の支えがあって生活をしています。高齢者への声かけ、子どもたちへの見守り、災害時の助け合いなど、日常の中に福祉の方が存在しています。

少子高齢化、単身世帯の増加は、地域のつながりを希薄化し見えにくくしています。しかし、そのような状況であっても、困っている人を助けたい、支えてあげたいという思いは地域に息づいています。自治連合会といたしましては、社会福祉協議会の皆さま

と常に連携し、見守り活動、居場所づくり、世代を超えた交流の場づくりを進めて行く所存です。地域の関係団体、多くのボランティアの方々のご協力を得まして福祉のまちづくりをめざしていきます。

地域は、誰かが支える場所であると同時に誰もが支えられる場所でもあります。これからも顔の見える関係を大切に、安心・安全に、笑顔があふれる新林をめざして社会福祉協議会の皆さまと力を合わせていければ幸いです。

よろしく願います。

友愛訪問
年へいパンの配布

十二月に
九十六軒のお家を
訪問しました。



寝具クリーンニング
サービス

十月七日
二十七軒の
お布団や毛布が
ふんわり。



敬老のつどい

九月八日
京都エミナース
大ホール

九月八日月曜日、京都エミナース大ホールにおいて、新林学区「敬老のつどい」が開催されました。この催しは、学区にお住まいの高齢者の皆様のこれまでの学区への貢献に感謝するとともに、これからも健やかに過ごしていただく事を祈念して行う自治連合会の大切な行事です。



京都府警察音楽隊による演奏

西京警察からの交通安全の

お話や、京都府警察音楽隊の演奏・カラーガード隊の演技を楽しみ、おしゃべりといっしょに美味しい昼食を召し上がって頂きました。



西京警察のお話

認知症あんしんサポーター講習

九月五日金曜日

講師 杏掛包括支援センター
センター長 栗津勇一氏

認知症を正しく理解した上で、偏見や差別をなくし、その方々と共に家族友人地域の中で前向きに暮らしていけるような社会を、又その為のサポートのあり方など、他の地域の活動の様子をビデオ等で勉強させていただきました。

参加者には「私は認知症のサポーターです」のカードが配られました。



認知症サポーターカード

医療出前講座

一月三十日金曜日

健康寿命を延ばして
より良い生活を！

講師
三菱京都病院・上級指導士
松本裕子氏

雪のちらつく寒い日にも関わらずたくさんの方が来て下さり、中にはご夫婦でこられた方も何組ありました。

講師は心臓リハビリテーション上級指導士の松本氏。

健康な老後に不可欠な五つの「M」モビリティ（身体機能）・マインド（認知機能・精神状態）・メディアケーション（適正な薬）・マルチコンプレキシテイ（多様な疾患）・マタ

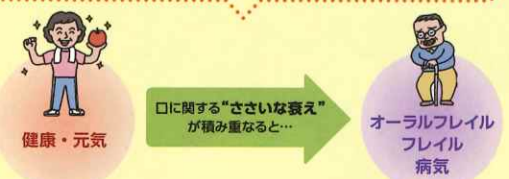
ーズモウストツミ（生きがいの人生優先）についてのお話でした。

フレイルの予防、特にオーラルフレイル（口の機能の低下）が身体機能の低下につながる事。認知機能を改善する生活習慣、お薬等の管理、一番大切なのは生きがい。どう生きていきたいかが最も大切な事だとのお話でした。

オーラルフレイル

当てはまるものはありますか？

- むせる・食べこぼす
- 食欲がない
少ししか食べられない
- 柔らかいものばかり
食べる
- 滑舌が悪い
舌が回らない
- お口が乾く
ニオイが気になる
- 自分の歯が少ない
あこの力が弱い



その先にある笑顔を守りたい。
公益社団法人 日本歯科医師会

秋のティータイム 和太鼓コンサート

11月28日(日)

午後一時よりジトパーズ十
一名の方々による演奏が始ま
りました。ジトパーズの名前
の由来は「ジジ」と「ババ」で

結成されているという事では
すが、そんな言葉が吹き飛ん
でしまうほどの熱の有る演奏
でした。



コーヒー
や紅茶とケ
ーキとも
に楽しいひ
とときとな
りました。
和太鼓体
験タイムが
あり、心地
よい汗もか
きました。

茶話会とカラオケ

二月十四日土曜日視覚障害
者支援センター洛西寮四階の
ホールで、コロナ以降久し
ぶりの開催です。

開始時間の一時前にはす
でに、洛西寮の寮生さんた
ちがはいって来られ、社協
委員が声をかけて手引きを
し着席してもらいました。
お茶お菓子を各テーブルに
用意し始めました。

申し込まれた自治会員さ
んも素晴らしい歌声を聞か
せて下さいました。
その後も、懐メロを中心



最後に皆さ
ん参加賞を受
け取り終了し
ました。

に寮生さん達の熱唱が続きま
した。歌詞カードなどが見え
ない寮生さん達がいかにかい
間口ずさんでこられたのかと
感心しました。

子育てサークル 「たんぽぽ」 クリスマス会



十二月十八日(木)にクリス
マス会として、おもちゃ、遊
具の準備に加えて、クリスマ

「ごでまり」 すこやかシニアサークル

今回は一月という事でもあ
り、会長の挨拶の後、縁起物
の形にした昆布入りの梅昆布
茶と柚餅で始まりました。そ
して、(自費ではありませんが)
大きな茶巾寿司の入った食事
を楽しみました。
なごやかな食事のあとは、
和紙の折り紙で連獅子を作り、
色紙飾りにするというもので、



ス仕様の飾りや、プレゼント
を用意しました。
子供達が自由に遊んでいる
中、サプライズでサンタさん
の登場となりました。幼児さ
ん達はびっくりしたり、こわ
がったりの反応で歓迎ムード
とはなりませんでしたが、サ
ンタさんからプレゼントをも
らって、なんとかサンタさん
と一緒に写真を撮りあったり
して、大人の方がワイワイと
楽しんでいました。とても和
やかな会となりました。

折り方自体はとてもシンプル
でしたが、そのシンプルさゆ
えにかえって難しくシニアの
方々、四苦八苦しながら取り
くまれていました。
最後はすばらしい作品が出
来あがり、満足そうに持ち帰
られました。
途中くじ
引きなども
あり、充実
した会とな
りました。

みんなの居場所 まちの縁側

(毎月一回第三火曜日)

新林の居場所として、皆さ
んに利用していただいています。
ゲームをしたり、おしゃべ
りを楽しんだり。にぎやか
な時間を過ごしてもらって
います。
介護予防推進センターの方、
沓掛包括支援センターの方も



毎回来ていただいてアドバイ
スをして頂いています。

社協活動を振り返って

【庶務担当】

斎藤 謙治

西長町自治会より社会福祉
協議会委員に任命され最初は
社協の活動内容も分からず四
月四日の総会に出席させて頂
き、月々多くの事業をされて
いる事を知り、自分がどの程
度ご協力出来るかを考えた時
仕事を身として平日昼
間の時間は難しいので、庶務
としての主に月々の回覧用印刷
物の準備をメインに日曜開催
のすこやかふれあい会食会や
ティータイムコンサートの会
場準備で手がが必要な事業に
参加させて頂きました。

自分自身も楽しみ、参加者
の満足気な表情に触れ、良い
時間を持てた喜びを感じまし
た。

【広報担当】

平出 智子

会長や執行部の方々にお世
話になりながら、九月と三月
に広報紙を発行しました。
編集作業の中で、社協の活
動が赤ちゃんからお年寄り、
障害のある方など、あらゆる
人を対象に広く行われている
ことや、単発のイベントと共
に毎月の地道な定期の催しと
いった様々な活動があること
をあらためて知りました。

これからは、一学区民とし
て興味を持った活動に気軽に
参加してみようと思っていま
す。

【記録担当】

大前 悦子

活動の記録係として社協に
参加し、多くの事を学ばせて

高齢者川柳

チョイワルも チョイヨボですねと 妻が言う
デパートで 買い物よりも 椅子探し
腹立ちを 仏に聞かす ひとり言
メモ帳の しまい場所にも メモがいる
まっすぐに 生きてきたのに 腰曲がる